

第 39 号

町民の声募集

るく建設的な「町民の声」を募集します。町政への率直な批判、異不平、希望などをどしどし寄せ下さい。住所氏名を明記し二月二十五日まで、広報係宛送して下さい。

1日 南大隅高校卒業式
12日 町議会招集
20日 自衛隊員募集受付開始
21日 春分の日
23日～28日 県下一周駅伝競争
中旬 各種競作会褒賞授与式
13日 大根占中学卒業式
15日 池田中学校 //

20日 大根占小学校 //
神川小 //

無駄をはぶいて、収入の1割は貯蓄しましょう

大根占
町の郷土史

地統

ひらく

三月十四日、寺園知事外、関係課長を迎えて、県政座談会が催された。町側からは町議、教育委員、農委委員、官公署学校長、部長長青年婦人会の役員が出席し、約二時間にわたつて、県政いろいろの問題について、懇談した。

知事は眞箇に道路の整備、防災營農対策（稲の早期栽培を中心とした）、土地改良の三施策を強くおしよつて、めざるとその抱負をのべ、町民の協力を要望した。座談にうつつて、いろいろの問題もあつたが、とくに道路、港灣の問題に論議集中、その他町婦人会から生活改良普及設置の件、定時制農学科の存置についてなどの要望があり、和やかな空氣の中に閉会した。知事はたびたびこの種の会合を開き、部落ののり込んで、磨つき合つて懇談したいと熱意のほどをみせた。

なお十四日夜は大根占小学校で、県政映画会が開かれ、県政二ユーソなを上映した。

大事な身分上行爲
のばさず、正確に

戸主は、死亡した日から数えて十日以内に出生地の役場に届出る。

医師、助産婦、その他の立合者の証明が必要

届出人は、①父②母③同居者の④医師⑤助産婦⑥その他の立合者の順

※死亡届

死亡した日から数えて七日以内に死亡地の役場に届出る。医師の診書（または死体検査書）が要る

届出人は、①同居の親族②その他の同居者③家主④地主⑤家屋管理人⑥土籍管理人の順

※婚姻届

男子十八。女子十六以上、二十才未満の人は親の同意が必要（二十才以上はいらない）

届出はどちらにも夫婦の届出で、二人の証人がいる。

※離婚届

普通協議離婚の場合は、夫婦の間未成年の子がいいたら、協議で親権者を決める。届出は夫婦と、外に二人の証人がいる。

その他養子縁組、養子離縁、認知

旗山神社の遷宮祭

出旗山神社は老朽の爲昨年十一月まで清掃された境内には奉祝の爲なる改築工事に着手していたが、ほどと完成したので、去る二月日、遷宮祭が挙行された。今工事には神殿神殿の改築と境内の門守社の新築で、総工事費十万円で落成したもので、この年國や氏子総代の手により圓いける。経営者のかわり目こそ経営にうつることのできる機会であるところ、こうした経緯があるのであるが農耕技術についても、全国最高水準といつ煙草耕作の技術をもちなが展示したり、活字つて、型鋳き載り終了した。午後は引続き同社伝来の神舞が行われた。

こゝにとほりなう遷宮の儀は終了した。午後は引続き同社伝来の神舞が行われた。

二人の舞姫や白髮の古老も青年ににやんの面をつけて舞ふ神技姫、けつけ舞、薙の舞、御下し舞、柴鬼神舞、霧皇神舞、たちから鬼神舞、吉野かんじ舞、袖相撲舞、四人鬼神舞、矢抜鬼神舞、田神舞、山神鬼神舞等十四種々にわたる約五時間熱演され午後五時終了この神舞は十数年ぶりに管内で司生による申舞保存の

緑化月間 3月20日まで

「金盞動が行われま
す。皆さまの苗に輝く緑の羽根は
やがて一本の苗となり樹木となつ
て郷土の山を町を、緑に包むこと
としよう豊かな郷土建設の為、こ
そつて緑化運動に参加しましょう
」

「はあこの『神舞』は三月十八日、
鹿児島市中央公民館で行われる、
『観光祭』で県下に紹介されること
になっている。」

2月29日——3月13日

花見どきは気がゆるむ
○でるときねるとき火の用心
○用水路はつねに水を

＝県民の精神革命と＝
県社会教育課長 川村純二

家の方の經歷が
 鬱室 ほとんど大部分が若くして親を失
 部五分 つた方であるということとは、若い
 点 改革の情熱のある時代に経営の担
 しい 当者となつたということであるが
 水稻 考へたいことである。その上、
 地二 隠居する時は、便利のよい田畑を
 九 隱居田としてもつて行く慣習が残

性もあらう關心を持つてゐる。もと農家の蘆筍と密接に結びつくべきであらう。更に次から次に發展して、段々と高い段階に進むべきものではないかと云われている。以上は、本眞の農家のもつてゐる課題のうちの文字通り永年の一角を素描したすぎいのであるが、その二つをよつて見ても、



写真①は仮社殿から遷座の神饌
②は舞の一コマ

日本の人口

に世界でもつとも密度の高い国に数えられてゐる。

自然増加数は毎分二、三人となる計算で、明治五人の人口の約二倍半に達している。

女の多い国

こんどの発表では、男四三八五万

一世帯は約五人

全国で一七八五万八二四世帯で一世帯当り人員は四、九七人となつており、昭和二十五年の五、〇二人にくらべ、わずかながら減少している。

に相当する人口が増えている
人口概数を市部、郡部別にみると、
従来郡部が多かつたのに対し、
こんどは市部人口が五六・三%を
占めるようになったのは町村合併
で市が増加した影響であるう

日本的人口

ついで北海道、大阪府、福岡県、愛知郡、兵庫県の順となつており一番少ないのは鳥取県で全国人口の〇、七%となつており、昭和二十五年以後五年間の人口増加では東京都はほぼ長崎県

江田實兵衛 厚地次右衛門、坂田金之丞等は彼地で戦死したので文祿四年に家臣河津市右衛門を更に

長期間にわたりこの郷土史に親しみを以て眼を通していただき我が郷土を理解する一資料とし

五七六五人 女四五四一 万三五一
四人で、女一〇〇人に對し、男九

最終回にあたり一言所感を述べ
まして終りといたします。

★ ★

大都府県に集中

西行法師の授けられた程の活躍となし、島津勢の中でも棟軍軍の名高を高くしめた。神川家ではこの遺品を相伝していたが近年其の所在を失つた事はおしい事である。この役で棟軍軍の野間武蔵、ついで野間三三三の屋敷が焼けてしまつていますが、それまで書くにはまだ相当な期間を必要としますので、一応室町末期までで筆をおき、町民各位の要望があれば他日、連郷士史として起稿してみようかと思ひます。

其の概略を述べたに過ぎず、充分に其の意をつくさない点もあります。又史実と相違する点があるならば充分御検討の上、より真実あるものにして戴きたいと思ひます。

の尊子も泣きやむ程其の勇名をど
どころかしたのである。この役に使
つた旗竿は我が町油田の旗山神社
境内より切り出した事は一月号に
於て記した通りである。鳥城の神
川家の先祖神川義章は福山城なる
山國下野の吉備國を治へ、其の國貴
祖と稱する。昭和二十九年八月禰を起してか
らすでに二十回、一年八ヶ月の
間町民各位に御褒誂いたゞきま
した大根占町の郷土史は今回を
もつて最終回といたします。

昭和十時代以降三百年の歴史が茂

と存じます。この間貴重な資料を提供して下さい方、あるいは史実を御教示下さい方、又現場に案内の勞をとって下さった諸氏に深甚の謝意を捧げる次第です。二十回にわたる記述は

の戦い、小西行長の守る順天城の戦い。島津義弘の守る泗川の戦いであつた。とりわけ泗川の戦いでは島津氏の奇計功を奏し敵兵三万八千七百首の余敵をあげたと言はれ、韓國人は石曼子と言へば、才

如き韓土の民、初代以来安らに眠る墳墓等想ふにつけ後憂をひかる、想ひであつた事であらう。

然し君命如何ともし難く一族郎党を引きつれ、まだ見ぬ里、吉利郷

※筆者所感

に關係によるものである。其の後世は徳川時代となり島津氏より地頭を任命して大根占、根占、田代佐多と分轄統治した。

十二年、時代は鎌倉、室町、織田、豊臣と變り、平家第二の故郷と思つてゐたこの地を去る事は如何にもしのび難い事である。

さて領主を失つた根占地方は秋風落日衰微の一途をたどつたが、吉利に移つた人も経済的理由から又歸つて来た者もあつたと伝えられている。吉利村（現在の日吉町）には当地方と同姓の多いのはかゝ

は急に懸船に出兵する事となり、全国に其の命を下した。この役は文祿の役と慶長の役の二回にわたっているが、当時根占の領主は十七代重張（初め重虎）であつた。想へば初代平清重初めて南大隈の地に館を構へてよりここに三百九

すより三百六十一年前である。松
島氏は祿高三三一四石となり根占
旧領の凡そ五分の一に減じ、其の
統治も経済的に困難であつた。
其の後松島の姓を小松に改め今日
に及んだ。

朝鮮につかわした。

十一、朝鮮の役と称慶氏の活躍
文祿元年、望をいだいた豊臣秀吉は、朝鮮に「島津氏」を通じて、称慶氏を利村に移る

十二、称慶氏吉利村に移る
朝鮮役の最中、文祿四年九月三日、

地 続

